

2011 年版

中国の保健食品市場の現状と ドラッグストア主要 100 社の最新動向調査

保健食品の申請・承認から販売まで

【本調査のポイント】

<第 1 章：中国の保健食品市場と日本企業の参入可能性>

- 大きく伸長する中国健康産業：保健食品市場の現状とは？
- 保健食品申請・販売の難易度、参入の可能性は？

<第 2 章：2 兆円産業：中国ドラッグストアの現状と展望>

- 中国チェーンドラッグストアチェーン、薬局の現状を解説
- 保健食品の重要な販売ルートと特徴
- ドラッグストアが始めた多角経営とは？（医療機器、化粧品など）

【中国の“健康産業”へ参入する海外の製薬・食品会社が増加しています。】

☆中国では、医療制度改革により基本医薬品が国営病院において卸値で販売されることになり、保健食品等のセルフメディケーション商品の市場構造が大きく変化しています。

中国でも、1996 年に日本の特定保健用食品制度を模して作ったといわれる「保健食品」制度ができ、政府が認めた 27 の機能について、食品にヘルスクレームが謳えることになっています。

中国での人気商材は、「免疫力向上」であり、日本のトクホにある「コレステロール調整」や「血圧調整」などのメタボリックシンドローム関連商品の人気はそれより低いとの調査結果もあるように、中国国内の人気商品や、流通動向など、参入前に下調べが必要な項目は多々あると思われます。

本調査レポートは、主に 4 つの章でまとめてあります。

- ① 中国保健食品市場の現状と、日本企業の参入可能性について
- ② 保健食品の販売ルートとして有望な中国ドラッグストア業界の現状と展望
- ③ 保健食品の申請方法、関連法規や通知
- ④ 中国のチェーンドラッグストア主要 100 社の概要

☆最新の中国保健食品市場の動向と、流通、市場環境、日本企業が参入する際の留意点、申請方法、販売ルート別動向、中国の主要チェーンドラッグストア概要などについてまとめています。

発 売 元：株式会社シード・プランニング

企画・調査協力：株式会社ヘルスビジネスマガジン社

〒113-0034

東京都文京区湯島 3-36-3 歌川ビル 4F 03-3839-0751

■調査対象（品目、業態）

- 中国の保健食品をはじめとする機能性食品（いわゆる健康食品を含む）
- 中国保健食品の販売ルート別動向
- 中国のチェーンドラッグストア
- 一部、ドラッグストアで取り扱っている医療機器、化粧品、オーガニック食品などを含む

■調査項目

- 中国の保健食品市場の最新動向
- 中国のドラッグストア業界の最新動向
 - 主要100社の概要：個票（会社概要、売上推移、店舗数推移、特徴）
- 中国の小売業界（販売ルート別）の最新動向

■調査方法

- 訪問ヒアリング調査（現地訪問）
- 公開情報の収集、有料データによる情報収集

■調査期間

2010年11月～2010年1月

『2011年版 中国の保健食品市場の現状とドラッグストア主要100社の最新動向調査』

発刊：2011年2月14日 体裁：A4判360頁

価格：定価199,500円（本体190,000円+税9,500円）

発売元：株式会社シード・プランニング

企画・調査協力：株式会社ヘルスビジネスマガジン社

……お申込み・お問合せ先…… **株式会社ヘルスビジネスマガジン社**

〒113-0034 東京都文京区湯島3-36-3 歌川ビル4F

購入申込

※レポートは、株式会社ヘルスビジネスマガジン社にお申し込みいただき代金の入金を確認され次第に発売元のシード・プランニングからお手元に発送させていただきますので、ご了承ください。

お客様にご記入いただく個人情報は、当社からの各種ご連絡、お問合せ、レポート類の発送のみに使わせて頂きます。ご連絡、発送のために個人情報を委託先に委託する場合があります。第三者への提供をすることはありません。個人情報のご提供は任意ですが、ご提供いただけない場合は発送等に支障をきたす場合があります。個人情報の開示・訂正・削除については下記宛てにご連絡ください。問合せ先（株）ヘルスビジネスマガジン社（TEL：03-3839-0751）。以上にご同意いただけましたら同意欄口にV（チェック）の上、お申込書に必要事項をご記入いただき、お送りいただきたく存じます。

→→ 同意

『2011年版 中国の保健食品市場の現状とドラッグストア主要100社の最新動向調査』

購入申込書

年 月 日

会社・団体名			
ご担当部署			
お役職名		御名前	
ご連絡先	〒		
TEL:			Email: @

FAX. 03-3839-0753 E-mail: yamamoto@health-mag.co.jp

株式会社ヘルスビジネスマガジン社（担当：山本）